

はじめに

～「感覚で学ぶ」ではなく「理解して学ぶ」。 この言葉が本書のコンセプトです～

私は、2021年から2年間、スウェーデンのカールスタッド中央病院で、ESDだけでなく内視鏡の基本技術を指導しました。日本と同様にスウェーデンでも初学者が内視鏡基本技術を正しく習得するのは難しく、学びやすい教本もありませんでした。他国で教えることにより、言葉で明確に伝えることや効率よく教えることの必要性を感じ、指導方法を工夫し、本書のもととなる内視鏡基本技術の教本を現地で出版しました〔「Endoskopi Teknik och praktik」(Shuichi Miyamoto), Tillotts Pharma AB, 2023〕。現在、初学者だけでなく指導者にも広く用いられているこの教本を日本の内視鏡診療の現状にあわせて改変したものが本書です。

これまで内視鏡をはじめるときは、「技術は見て盗め」と言われていましたが、初学者にとって技術を見て盗むのはきわめて困難なことです。また、教える側にとっても「感覚で学んだ」技術をわかりやすく人に説明するのは難しいことです。

本書では、内視鏡の持ち方からはじまる基本技術を、感覚で覚えるのではなく理解して学べるように、「言葉」と「写真・イラスト」を用いて系統的に解説しています。

基本技術を正しく理解して習得することで、自分の技術はさらに発展し、さまざまな状況に対応できるようになります。「最速で身につける！消化器内視鏡の基本テクニック」が皆様の内視鏡技術の習得・向上に役立つことをお約束します。

さあ、張り切って内視鏡をはじめましょう！

2024年4月



北海道大学大学院医学研究院 内科学講座 消化器内科学教室
宮本秀一